

尋常
小學
新體
讀本

卷二

水 庫 尋 常 校

明治
保
治
期
年
月
迄

談
第
一
二
號

明治
廿
年
六
月
購
求

函 書 和 函 書 遡



a 1 3 8 0 3 2 7 9 2 4 a

福岡教育大学蔵書

T1A3

10

Ki44j

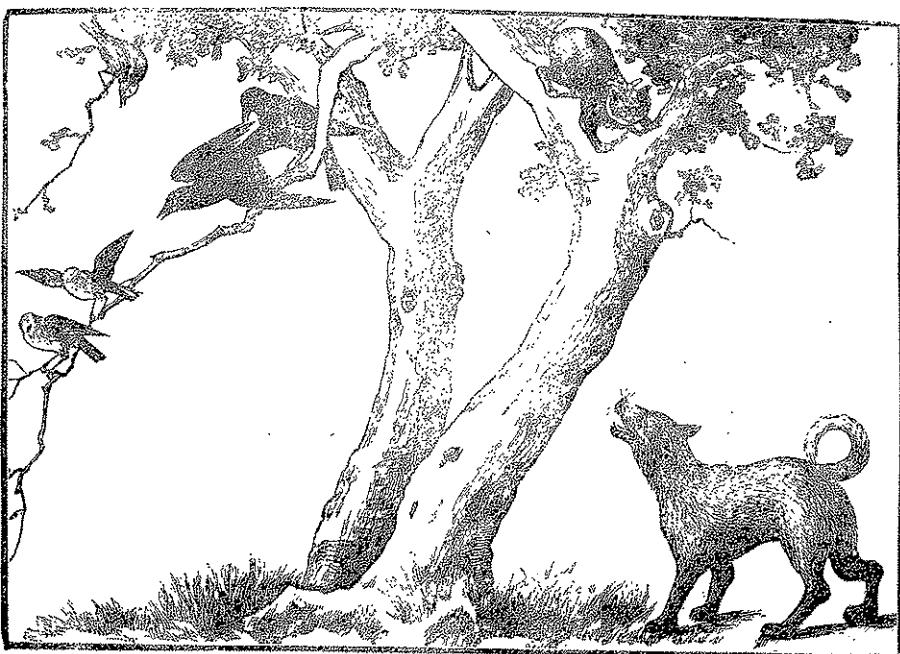
明治廿七年十一月一日
文部省檢定簿



尋常小學
新體讀本

卷二

いぬ



○きのうへに
ねがぬます。
きのうたにいぬ
がぬます。
ねがはにえあに
やあとないて
ぬます。

かあ

ちう

いぬはわんわんとほいてぬます。
○からすはかあかあとなます。
すずめはちうちうとなます。
すずめはちいさなちうてあります。
からすはくろいちうてあります。



は——やちあつた。
ハ——フーリマス。

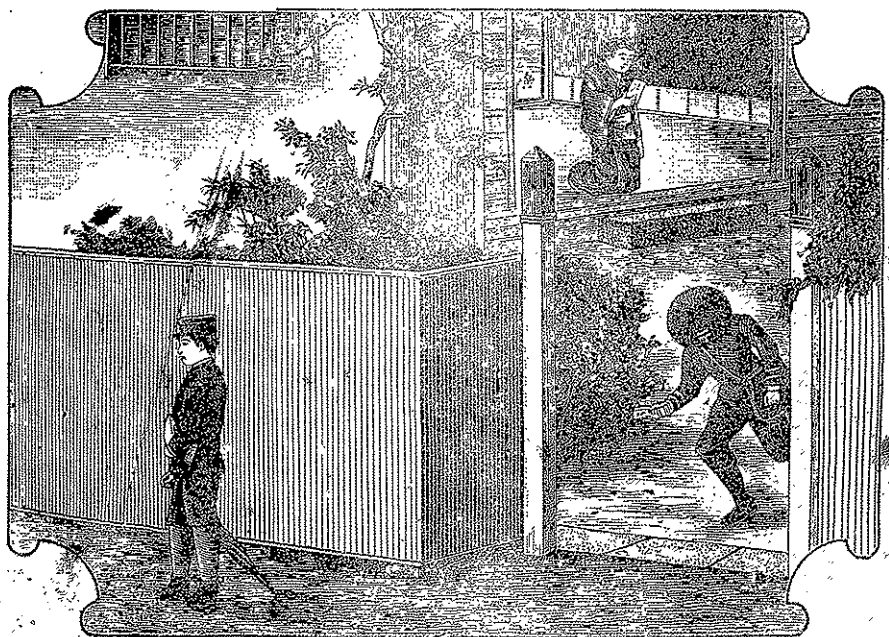


このゑを
みてれもふ
ことをかけ。

○いびんがき

また。

かう
これはがくから
きたのであります。
あしたからけいこ
がはじまるとかい
てあります。



○このせうはよくせんきう

一ます

これまでもいちにちもやすみませぬ。
のちにはかゝいひとになりませう。

いふほにでませう。

とちう　まで　ゆきませう。

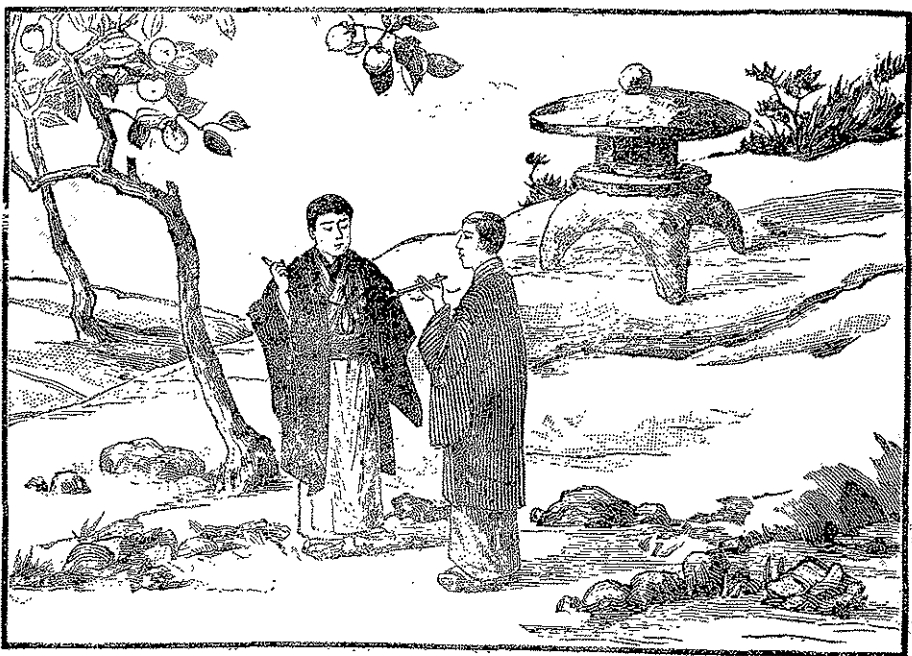
あのきやうだい
はながよい。

のーがーた。



この魚を
みてねもふ
ことをかけ。

ろう
ろう



○にはにやうろう
があります。
あのやうろうは
いーのやうろう
であります。
やうろうのわき
にひどがぬます。

ろう
ろう

あのひどははなをーてぬます。
○あさゆふはよほむすずくぬまーた。
ござーはろうがよろーうじぬます。
ろうのよろーいぬきはなーやかき
がたふさんぬます。

ゆふがたにぬまーた。
やうろうにあかりをつけませう。
やうふがにぬまーた。

ラウ

ダウ

ク



○タラウ ハ ナシ
ラモツテ井マス。
ジラウ ハ ブダウヲ
モツテ井マス。

ナシトブダウトハドチラガウマク
アリマスカ。

○クダモノ ヤクウシヲクヒスゴシテ

ビヤウ

ハナリマセヌ。

クダモノ ヤクウシヲクヒスゴセバ

ビヤウキニナリマス。

ビヤウキハクチヨリイルトイヒマス。



ガ



ヲトラウトシテ井マス。



ハ



ハアメラーデアリマス。

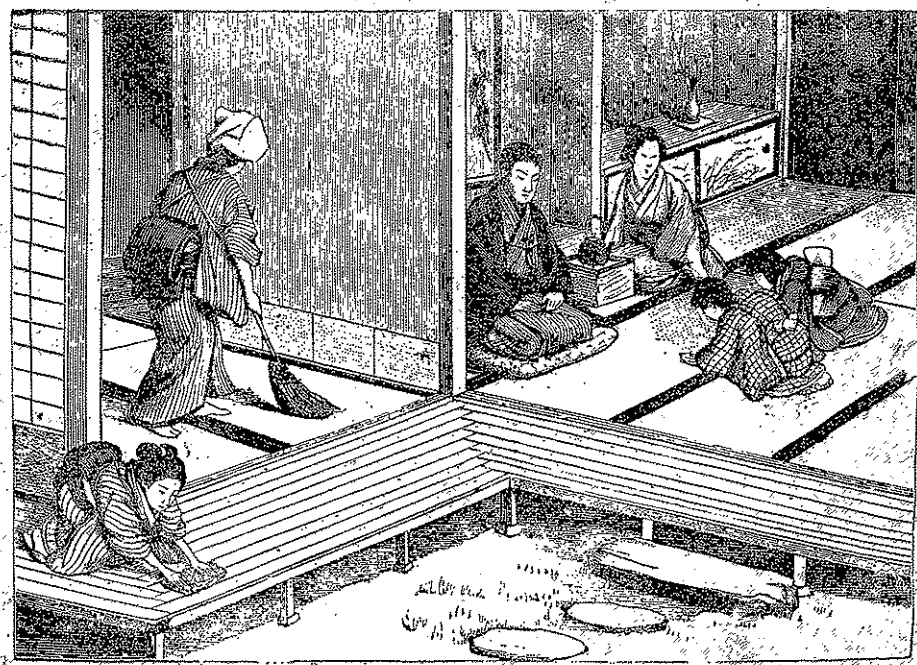


ハ



ハ

○フタリノコドモ
ガチハニムカツ
テレイヲシテ
ヨリマス。
アノコドモハマイ
アサリヤウシシノ
マヘヘデテレイ



ヲシマス。アノコドモハマコト
ニギヤウギガヨクアリマス。
○アチハハウキデザシキヲハイ
テ井マス。
イモウトハザフキンデエシガハヲ
フイテ井マス。
アノムスメハヨクハタラキマス。



ヲオス。

ギヤウズ井 ヲツカフ。

ハウビヲモラフ。

リヤウテヲダス。



ハ――。

ザウリハ――。



ハ――。

ザフキンハ――。

オウ

○コ、ニキメウナハナガアリマス。

イロハアカウゴザイマス。

オウ

カタチハチヤウドニハトリノトサカ



ニニテ井マス。

コレハナントイフ

ハナデアリマスカ。

コレハゲイトウトイフハナデア

アリマス。



セウガトメウガ。

ヲカシマセウ。



ト

スミイツチヤウ。



ふ

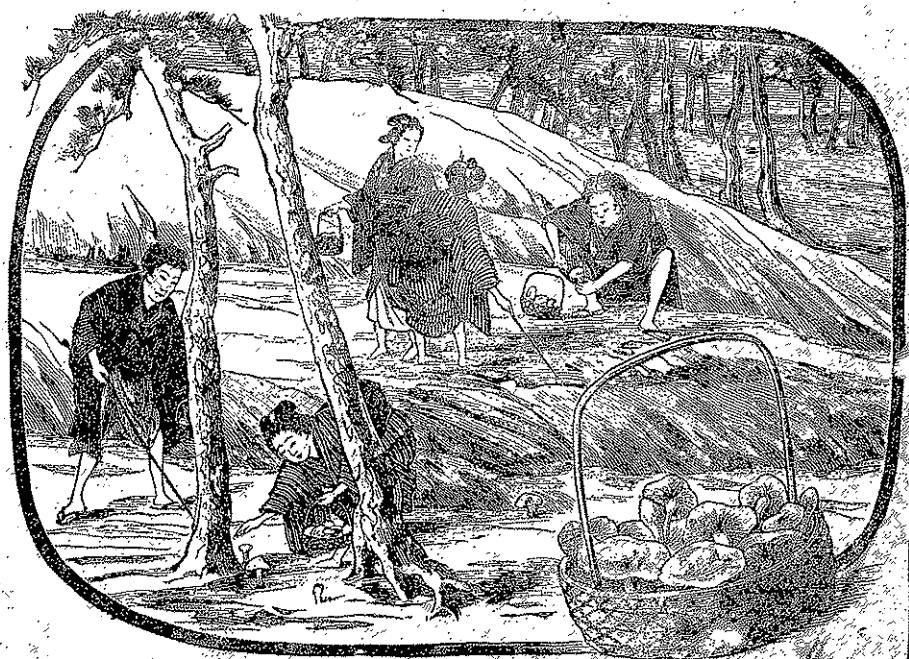
○かごふきのこが
あります。

と

ひとがゐます。

ハ

あのひと、いなか
をーてゐるの
でございますか。



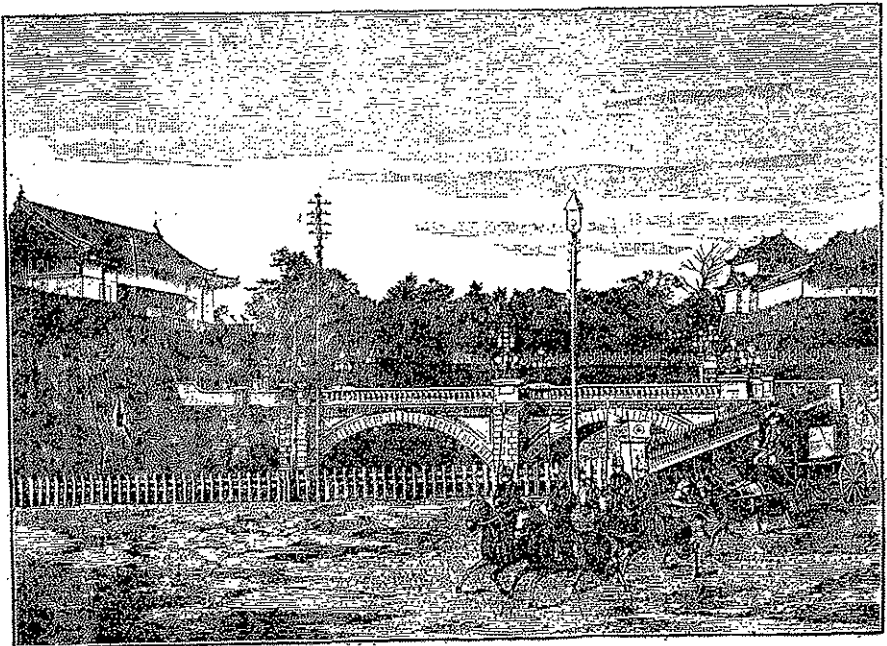
と

あのひと、いきのこをさがーてゐる
のでございます。
やまへいつてきのこをとるのハ、
まごふたのーきなものであります。



かごふきのこが
ありますか。
このひとハ
なふをーて
をりますか。

きよ　くわ　ー　や



○てんーさまの
ねすまひをくわう
きよといふ。
くわうきよのうと
ふばーやがある。
ばーやのまへふ
きいがたつ。

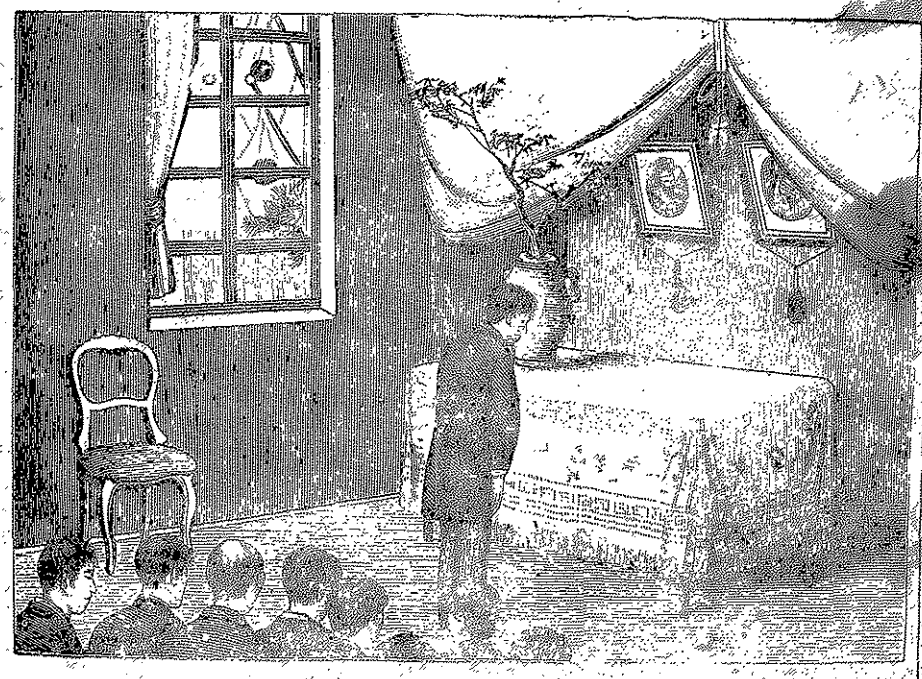
あ　の　ば　ー　や　い　う　う　ー　さ。
あ　れ　い　て　ん　ー　さ　ま　の　ば　ー　や　て
ご　せ　う　ま　せ　う　。



が　ふ　の　る　。

わ　た　く　ー　ハ　き　よ　ね　ん　び　や　う　め　ん　ふ　い　り　ま　ー　た。
い　ー　や　が　び　や　う　め　ん　を　ま　さ　ふ　。
い　ん　き　よ　が　き　よ　ふ　ね　て　ゐ　る　。

けふ ○けふハてんーさま
 のごたんーやうびで
 あります。
 てんーさまのごたん
 ーやうびをてん
 ちやうせつといふ
 あのひとハたーや



んふむかつてれいさーをひます。
 あれハごーうぎを まろーあげて
 あります。
 われくもつーんて ーるを
 まろーあげまわう。

のーやうを みせてください。
 あかい まろせんをかりてください。



○イケノナカニ
ウラガ井ル。
アノウラハアカイ。
アレハキングヨデ
アラウ。
フ子ガミヅニウ
イテ井ル。

アノフ子ハチヒサイ。

アレハオモチヤノフ子デアラウ。

○オウメサン、

ワタクシハキノフ

オモチヤノハウ

チヤウヲモラヒ

マシタ。



ハ

ケフハ マンゴトヲシテアソビマセウ。
ワタクシ ハ ニンジン ヤ ゴバウヲ
キリマス。
オウメ サン ハ ニンギヤウヲナラベ
テクダサイ。



ハアカイ。



ハ—イ。



モ—。



ハ—ヲノスル

ドウグ

デアル。



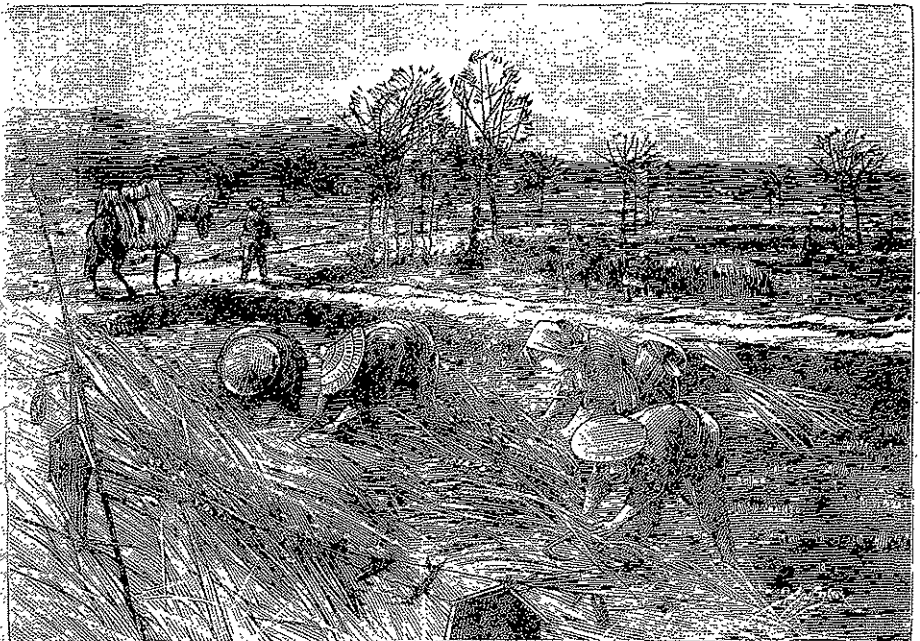
ハ



ラー—。

ホ

ヒヤク



○イ子ガ ヨクミ
ノリマシタ。
コトシハ ホウチン
デアリマス。
ヒヤクシヤウガイ子
ヲカツテ井マス。
イマハ ヒヤクシヤウ

ノイソガシイ トキデ アリマス。

ヲトコ モヲシナモ、ミナイソガシ

ソウ ニハタライ テ井マス。

○アノコゾウノモツテ井ルモノハナ

ントイフモノデアリマスカ。

アレハハカリトイフモノデアリマス。

コゾウハイマハカリデサタウヲハカ

ツテヨリマス。

キヤクハミセノマヘ

ニタツテヨリマス。

バントウハチヤウメン

ヲツケテヨリマス。



ヒヤクニシノキヤク。

シヤウバイハンシヤウ。



ガ
ヲー。



ハ
ー。

けい

○けいはいにちいり
びであります。

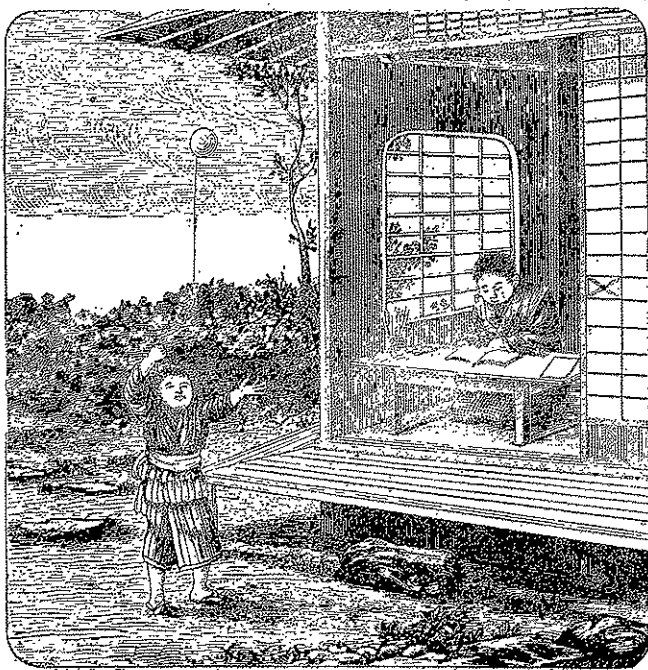
い

あにいとほんのふく
いふをしてをります。
れとうといあさから

ふう

ふうせんたまをとばしてをります。

あにいきよねんからせうがくから



へかよつてをります。

れとうといこのごろけいちゃん
かよひはめまいた。

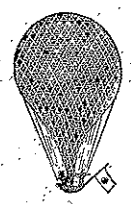
あいたいげつにびであります。

トをならふことをいふといふ。

いふのときいからだをまげるな。

いふのはなはいつんできけ。

これいであります。——が



おー。

4



二、シム、定、三、余、也、三、會、不

ぶ

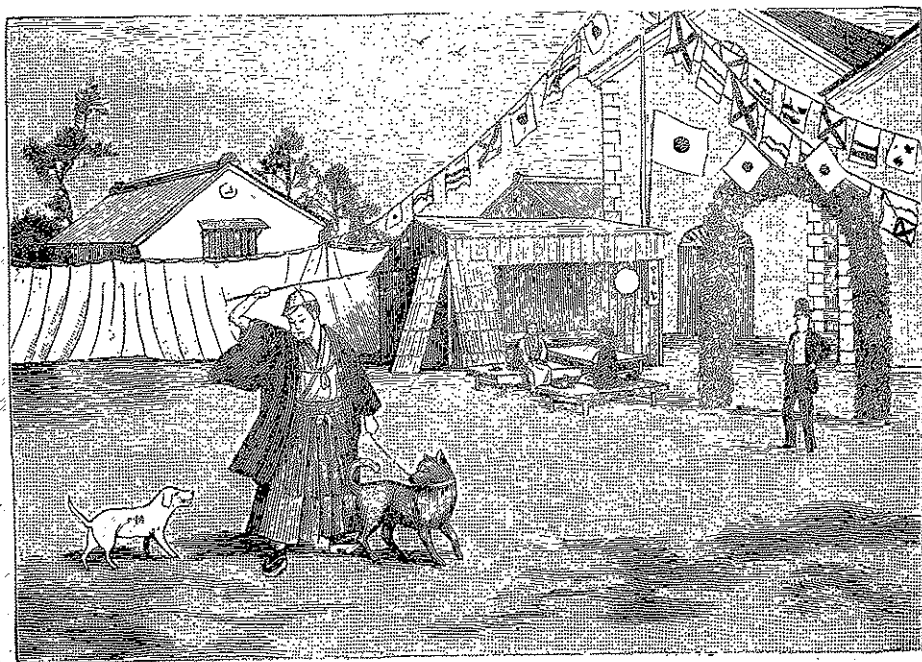
ぶ

けうぢやうにいつてハねをくせよ。

この魚をみてねまふ
ことをかけ。

そ ○あそこはまくがはつてある。
よ あれはうんとくわいのばしよである。
人 人がいりくちふたつてゐる。
あの人はいけうーであらう。
まのわきふきうそくどよがある。
人がきうそくどよにやすんでゐる。
犬大 ○あの人い大きな犬をつれてゆく。

小



小さな犬が大きな犬をみてほいてゐる。
あの人い小さな犬をわつてゐる。
小さな犬はなかくにげませぬ。



このゑをきて
れもふことをかけ。

ハーい。



ハーい。



が



をー。



きんがよの

テウ

○コドモガテウレンノマ子ヲシテ井ル。

ガウ

大キナコドモハケンヲヌイテガウレイ

ヲカケテ井ル。

パウ

小サナコドモハテウパウヲニナツテ

ス、ンデユク。



大キナ犬ノヒイテ
井ルモノハナニデ
アラウ。
アレハタイハウノ
ツモリデアラウ。



ト



シハウハツパウヘカケマハル。

イヘノバンガウ。

上



○コレハ 雫ニハ
 デアリマス。
 ヤマモアレ バイケ
 モアリマス。
 ヤマニマツノキガ
 アリマス。
 マツノキノ上ニ

下

カラスガ井マス。
 マツノキノ下ニ イシドウロウガ
 アリマス。

中

イケノ中ニ ミヅトリガ 井マス。



コノエヲ
 ミテオモフ
 コトヲカケ。

木

○木ノ上ニキジガ

井ル。

山

山ノ下ニウサギガ

井ル。

クサノ中ニ人ガ

カクレテ井ル。

アノ人ハテツバウ



リ

ヲモツテ井ル。

アレハカリウドデアリマス。

カリウドハツ子ニ山ノ中ニワケイツ

テトリヤケモノヲトリマス。



コノエヲミテ
オモフコトヲカケ。



コノエヲミテ
オモフコトヲカケ。



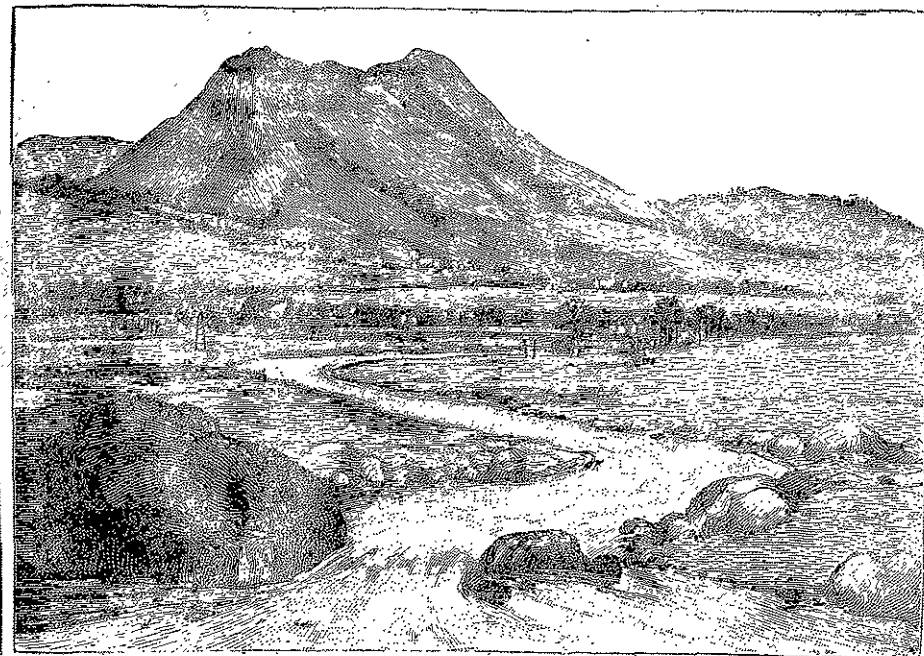
ハ
ニ



ハ
ニ

川

きふ



○この川のみづは
よくすんでゐる。
この川みづをが
をらぬ。
このながれはよい。
はやいながれを
きふりうといふ。

この川のみづはどこからでて
きますか。

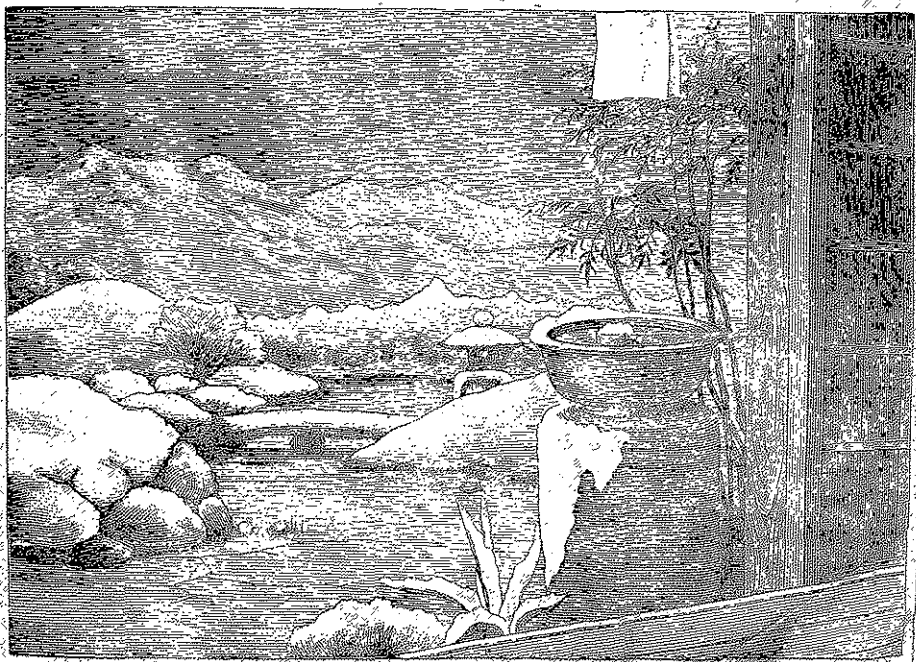
かふ
むかふの山からでてきます。

あ
あの山ふはいろくの木があります。
この川のみづは石があります。
川の中にも石があります。

石がきくづれまゐた。

きふをほいませう。

○ゆふづいゆきが
ふりまゐた。
むかふの山はまつ
しろになりまゐた。
にはの石山もまつ
しろふなりまゐた。
けさのさむさいよ



より

水

氷

ほどつよりございます。
いけの水がこほりまゐた。
てうづばちふいあつい氷がはりまゐた。
ひーやくがこほりついてうづばちせぬ。

よりどがあるかられいでなさい。

よりどんをせぬとかぜをひきます。

水はこほつてゝふなります。

氷はとけてゝになります。

しやう



○ふゆハくわドが
 れほい。
 あれ、はんしやうの
 れとがきこえます。
 あれハくわドの
 ーらせであります。
 むかふのやねふ

火

火がみえます。

火のこがあちらへとんでゆきます。

火けーが水をかけてぬえます。

やう
 これハ大くわドのやうふねもはれます。

ちやをいれてくださ。

しやうちいたーまーた。

やうかんをきりませうか。



へーを――。

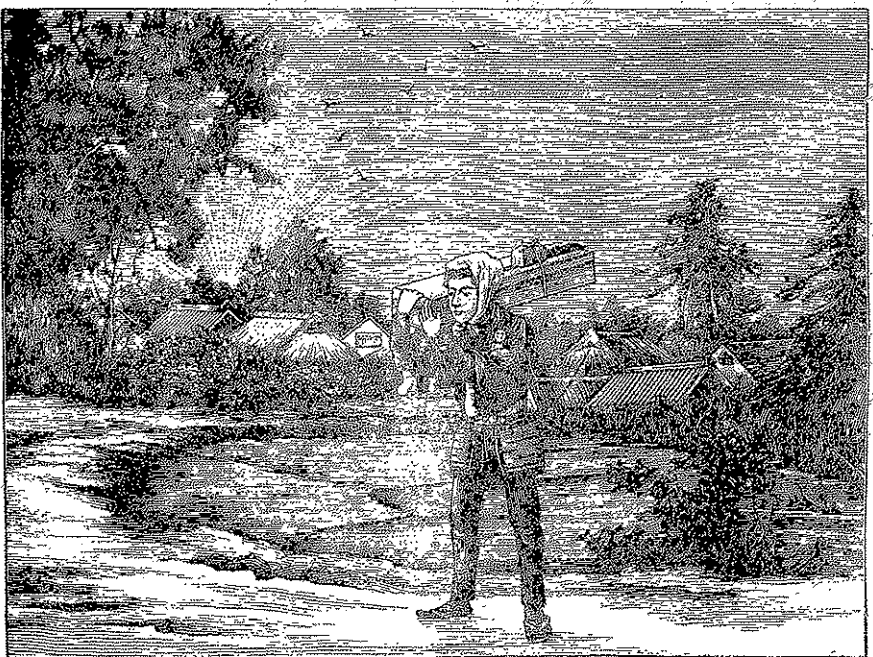


もーを――。

○からすがねぐらを出ました。

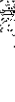
日がのほりかけました。
だいくがーごとは
へ出てゆきます。

あのーよくにんハ
はやれきであります。



はやくねきて、よくけふをはげめ、
いへがはんどやうします。
うれゆゑにはやねきは、いのさかゆる
はじめだとまうします。



の

の
—
ぬ
まへ
ふ
ねぐら
を
—
ます。

あさねの人ハ日の――を――らぬ。
 日が――バくらくなる。
 日が――バあかるくなる。

入

田



○日が入リカケマシタ。
 コノニハトリハマダ
 トヤニ入リマセヌ。
 ムカフノ田ニヒヤク
 シヤウガ井マス。
 アノヒヤクシヤウハ
 ヨクセイヲ出シマス。

月

月が出マシタ。 コシヤノ月ハミカ
 ツキデアリマス。
 ケフハイクロデアラウ。 コシ月ハ
 ナシ月デアラウ。

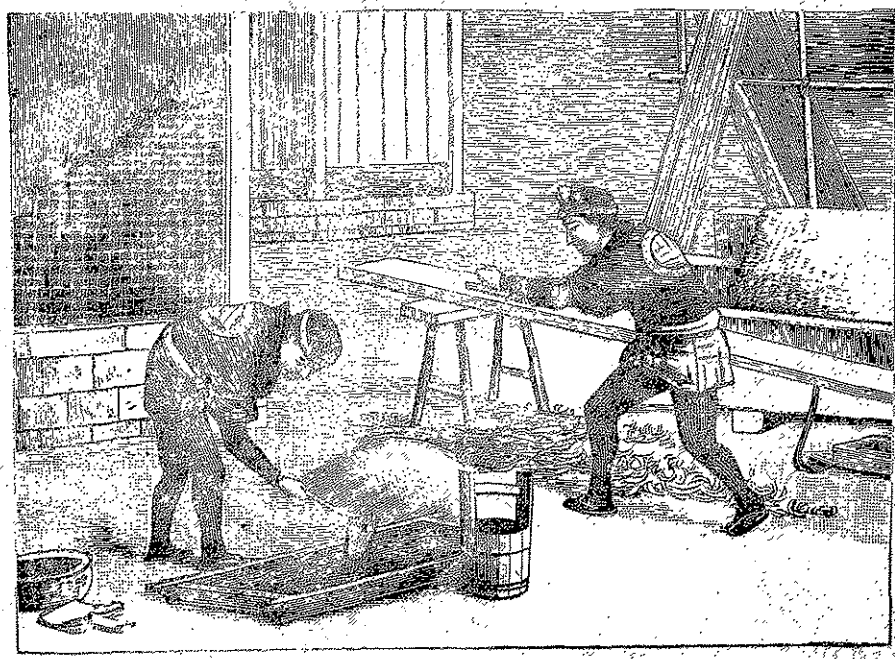


ハ——。

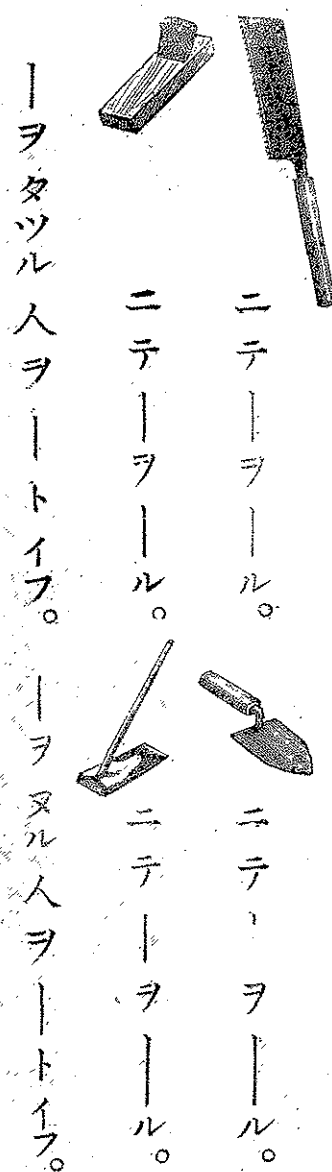
日ガーレバーが出マス。

ケフハ一月一日デアリマス。
 ヒヤクシヤウガ田ニ出テヲリマセヌ。

○木ヲケヅツテ
 大エ井ル人ハ大エデ
 アリマス。
 土ヲコネテ井ル
 人ハサクワンデ
 アリマス。
 大エハイヘヲタツ。



サクワンハカベヲヌル。
 大エハ木ヲクンデイヘヲタツ。
 サクワンハ土ヲコネテカベヲヌル。
 大エハイヘヲタテ、サクワンハカベヲヌル。



ーヲタツル人ヲートイフ。ーヲヌル人ヲートイフ。

口

○ハナニテニホヒヲカグ。
 ロニテシヨクモツヲアヂハフ。
 ロハシヨクモツヲアヂハビ、マタモノヲ
 イフハタラキアリ。

目 耳



目ニテモノヲ
 ミ、耳ニテコエ
 ヲキク。

目ハモノヲミルダウグナリ。
 耳ハコエヲキ、ワクルハタラキ
 アリ。

ニホヒヲカグハナリ。

モノヲクラハナリ。



モノヲイフハナリ。

モノヲーハナリ。



ーノキケヌ人ヲートイフ。

ーノミエヌ人ヲートイフ。

ーノキコエヌ人ヲートイフ。



ノーハナガイ。

手 ○手にてしごと

をなす。

しごとをなすハ

手なり。

足 足にてあゆむ。

ほかりをなすハ足なり。

手ハいろくのわざをなし、足ハ



本

ほかりのやくめをなす。

人おハ二本の手と二本の足とあり。

されど、口ハたゞひとつなればものを

いふことハすくなく一てはたらく

ことハれほくすべし。



花



うめの花がさき
そろひまゐた。
うぐひすがよい
こゑにでないて
をります。

白

あのうめの花ハ白くてにほひ
がよいございます。

赤

このうめの花ハ赤くてうつ
くうつございます。

うめの花をみうぐひすのこゑ
をきくハまことにそろよいもの
であります。

—い花。この花ハ—い。

赤いうめをこゝばいといふ。

—いうめの花はゆきのやうであります。

○コノ女ノ子ハ
 イマ手がミトモ、
 ノ花トヲワタサウ
 トシテ井マス。
 アノ女ノ子ハ手
 ガミトモ、ノ花トヲウケトラウト
 シテ井マス。



アノテガミニハナントカイテ
 アリマセウカ。オホカタ、
 も、の花一にださーあげます
 トカイテアリマセウ。

モ、ノーハ、ウスアカイ。

コノハ



ヲ

コノハ



ヲ

！

！

今 左 右



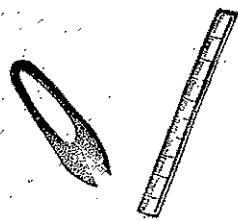
○コレハサイホウ
ノケウヂヤウナリ。
コノ女ノ子ハ右
ノ手ニハサミヲ
モチ左ノ手ニ
タンモノヲモテリ。
コレハ今タンモノ

バ

ヲキラシトスルトコロナリ。
アノ女ノ子ハ右ノ手ニモノサシヲ
モチ左ノ手ニタンモノヲモテリ。
コレハ今タンモノノスンバフヲハカラン
トスルトコロナリ。



ホ
コノエヲ
ミテオモフ
コトヲカケ。



ハ
ハ

明治廿七年八月十二日印
同 年八月十五日發
同 年九月廿五日訂正再版印刷
同 年九月廿八日發行

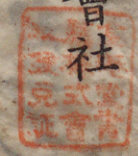
定價金六錢

金港堂書籍株式會社編輯所編輯

發行所
印刷者

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

金港堂書籍株式會社



代表者

右社長
原

亮三郎

大阪市東區南本町四丁目

金

港

堂

賣捌所

官城縣仙臺市國分町五丁目

金

港

堂



社会科

明治
28
柳川島海